

防府市役所

# 新庁舎設計概要

防災拠点機能の強化と市民サービスの向上を実現する新庁舎



## 行政ゾーンの形成

連携強化による災害対応、市民サービス向上  
福祉関係窓口の一本化

災害対応を含む  
市民生活の安全・安心

防府市文化福祉会館



山口県防府総合庁舎



防府警察署(移転要望中)



新庁舎での令和6年度中の業務開始を目指します。

防府市

## 新庁舎の特徴

### 防災拠点機能の強化

- 庁舎棟は免震構造とし、ライフラインが断絶しても1週間は自立運転可能な設備等を導入します。
- 災害対策本部を庁舎棟中央に配置し、災害時に迅速な指示、対応を行います。
- 県の土木部門が入ることで、一体的な災害対応が可能となります。
- 災害発生時に災害ボランティアや衛生面への対応が的確に行えるよう、社会福祉協議会や県健康福祉センター機能を備えた福祉棟を整備します。
- 災害発生時の緊急一時避難に対応できるよう、立体駐車場にはトイレを整備します。

### 市民サービスの向上

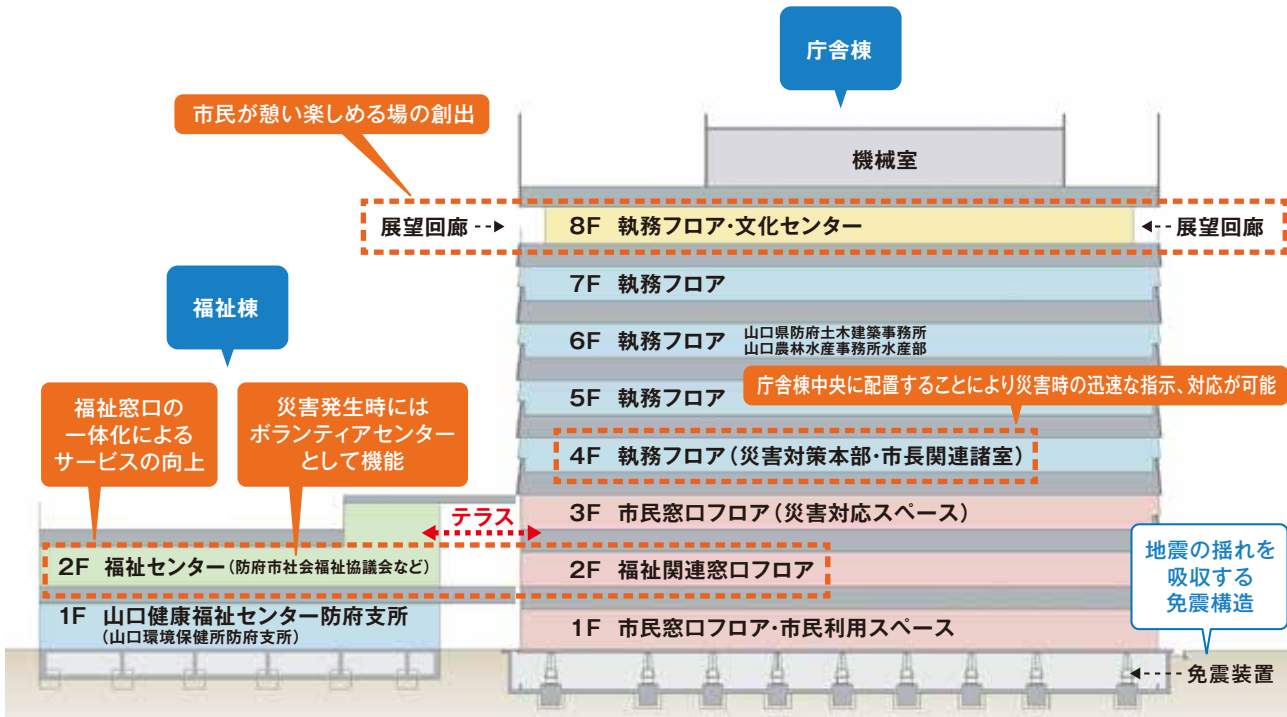
- 市民がよく利用される窓口部門を1階から3階までの低層階に配置します。
- 福祉関係の窓口を同じフロアに配置してデッキで一体化し、使いやすくします。立体駐車場からも濡れずにアクセスできます。
- 文化センター機能を8階に集約し、展望回廊と共に市民の憩いの空間とします。
- わかりやすいユニバーサルデザインの採用、バリアフリートイレやキッズスペースの設置等、誰でも利用しやすい庁舎とします。



### 省エネルギー、環境への配慮

- 二酸化炭素排出量の少ない空調熱源システムを採用します。
- 高効率、高性能機器の導入により、環境負荷の低減を図ります。
- 自然換気や自然採光、LED照明と間接採光を併用します。

## 階層図



## スケジュール

新庁舎整備項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8
解体工事	2・3号館解体			1・4・5号館解体		
新築工事		新庁舎建設工事			供用開始	
立体駐車場・外構工事					工事	

## 建築概要

	庁舎棟	福祉棟	立体駐車場
構造	鉄骨造(基礎免震)	鉄骨造	鉄骨造
建築面積	2,551.5㎡	1,307.64㎡	約2,000㎡
延床面積	17,713.76㎡	2,047.72㎡	約8,000㎡
階数	8階	2階	4階
建物高さ	40.25m	12.6m	約16m

## 建設事業費について

市負担額 110億円

市庁舎

文化福祉  
社会館機能



県総合庁舎  
機能

- 現在の文化福祉社会館機能のうち、福祉関係では社会福祉協議会、文化関係では大会議室等が新庁舎に入ります。
- 文化関係の講座室や実習室等は、ルルサス防府に移転します。
- 福祉棟は、市の福祉部門とデッキで直結し、福祉窓口が一本化します。

- 土木部門の連携により、災害対応が強化されます。
- 保健所機能の近接により、市民の健康対策が向上します。

## 庁舎建設から、まちづくりへ

### 市の実質負担の低減と事業費の抑制

「より早く」建設することを目指して取り組んだ結果、令和2年度に実施設計に着手できたことによって、有利な地方財政措置（市町村役場機能緊急保全事業）を活用できます。また、既存施設の賃借などによる仮設費ゼロの実現や、耐震性のある議会棟の継続使用によって「より安く」建設できるよう事業費を抑制します。

これにより生じた財源を、市民サービス向上やまちづくり事業に活用します。



市民サービス向上や  
まちづくりへ！

財源約 **30億円**



- 市庁舎のデジタル化
- 市庁舎へ文化福祉社会館機能の一部を移転
- アスピラート市民ギャラリー等の改修
- 市道栄町藤本町線の整備
- 防災広場の整備（文化福祉社会館解体後の跡地）
- ルルサス防府へ文化福祉社会館機能の一部を移転

事業費40億円

〔実質負担〕  
20億円